



文化財 まちあるき マップ

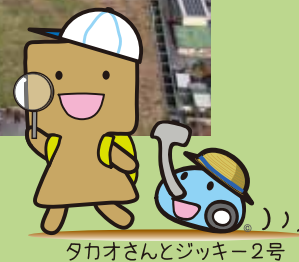
浮島編

旧根方道（根古屋～荒久）周辺の文化財をめぐる



興国寺城跡

“まちあるき”の際は、車に十分注意しましょう！



タカオさんとジッキ－2号

沼津市教育委員会

モデルコースA

～じっくり歩きたい人むけ～

歩行距離 6.1 km 所要時間 約 3.5 時間
消費カロリー 280kcal

スタート 東根古屋バス停

300m 4 分 14kcal

① 興国寺城跡（本丸）

700m 9 分 32kcal

② 本法寺

870m 11 分 40kcal

③ 東井出の弁天池

240m 3 分 11kcal

④ 大泉寺

旧根方道 1,770m 23 分 81kcal

⑤ 頼朝駒止めの棕

440m 6 分 20kcal

⑥ 平沼の湧水

1,120m 14 分 51kcal

⑦ 本廣寺

680m 9 分 31kcal

ゴール 荒久バス停

モデルコースB

～早足でまわりたい人むけ～

歩行距離 2.5 km 所要時間 約 1.5 時間
消費カロリー 114kcal

スタート 東根古屋バス停

300m 4 分 14kcal

① 興国寺城跡

700m 9 分 32kcal

② 本法寺

1,110m 14 分 51kcal

③ 大泉寺

360m 5 分 17kcal

ゴール 西井出バス停

カロリー計算 体重 60 kg ,80m/ 分

浮島地区の歴史年表

旧石器	約 37,000 年前 ●井出丸山遺跡 ●洲ヶ沢遺跡	●秋葉林遺跡
縄文	約 16,000 年前 ●平沼吹上遺跡 ●葱川遺跡	
弥生 古墳	約 3,000 年前 ●葱川遺跡 西暦250年頃	
飛鳥 奈良 平安	●井出丸山古墳 710年 ●千鳥道経塚 1185年	●石川古墳群 ●阿野全成 ●大泉寺 ●阿野庄 ●北条早雲
鎌倉 室町 (戦国) 安土 桃山	●蓮興寺 ●荒久のお石塔さん ●興国寺城跡	●源頼朝 ●本廣寺 ●西岸寺 ●本法寺 ●興隆寺
江戸	●法華寺 1600年	●河毛重次 ●天野康景
明治	●庚申塔・甲子塔 1868年	
大正 昭和 平成 令和	●弘需館 ●本廣寺彫刻 ●浮島農業補習学校 ●原町と合併（S30） ●浮島ひまわりランド 2020年	●興隆舎 ●浮島村誕生（M22）



⑥ 平沼の湧水（平沼）

豊富に湧き出る愛鷹山の湧水を利用した洗い場で、タイル張りの4段の水槽に、自噴井からの大量の湧き水が流れ込んでいる。井戸の深さは80メートルといわれ、平沼自治会8班のみなさんによって、今でも水場はきれいに管理されている。

⑦ 本廣寺（石川）

日蓮正宗の寺院で室町時代の創建といわれる。山門や本堂の内外部に見事な彫刻が施されている。本堂向拝部（参拝者が手を合わせるところ）の彫刻は明治時代中頃の作で、龍や獅子などの動物や葡萄・唐草などの植物で埋め尽くされている。



文化財まちあるきマップ 浮島編「旧根方道（根古屋～荒久）周辺の文化財をめぐる」
2021年3月発行 発行・編集：沼津市教育委員会事務局文化振興課（沼津市文化財センター）

① ① 興国寺城跡（根古屋）【表紙の写真】

江戸時代に書かれた軍記物によれば、北条早雲こと伊勢新九郎盛時が今川氏親の家督相続に貢献し、興国寺城を与えられたとされる。興国寺城は駿河国の東端近くに位置するため、境目の城として今川氏、北条氏、武田氏、徳川氏などの戦国大名の争いの舞台となった。関ヶ原の戦いの後、徳川譜代家臣の天野康景が城主となるが、康景は家臣をかばって城を離れてしまい、慶長12年（1607）廃城となった。現在、本丸には大きな土塁が残り、伝天守台の後方には深い大空堀が残っている。

② ② 本法寺（河毛重次供養塔）（根古屋）

中村一氏の重臣で興国寺城主を務めた河毛重次の開基といわれる寺院。寺には河毛の遺品といわれる馬具と彼の供養塔（写真左）と伝わる石碑が残っている。また、寺内には興国寺城の鬼門（北東）にあったとされる第六天魔王が移されている。



③ 東井出の弁天池（井出）

東井出の根方街道沿いにある池は、愛鷹山の自然湧水によるもので、中の島には弁財天が祀られている。弁財天は江戸時代に疫病が流行した際に祀られたのが始まりという。弁財天は水の神として地元の信仰を集め、池とともに大切に守られている。

④ ③ 大泉寺（伝阿野全成・時元墓）市指定史跡（井出）

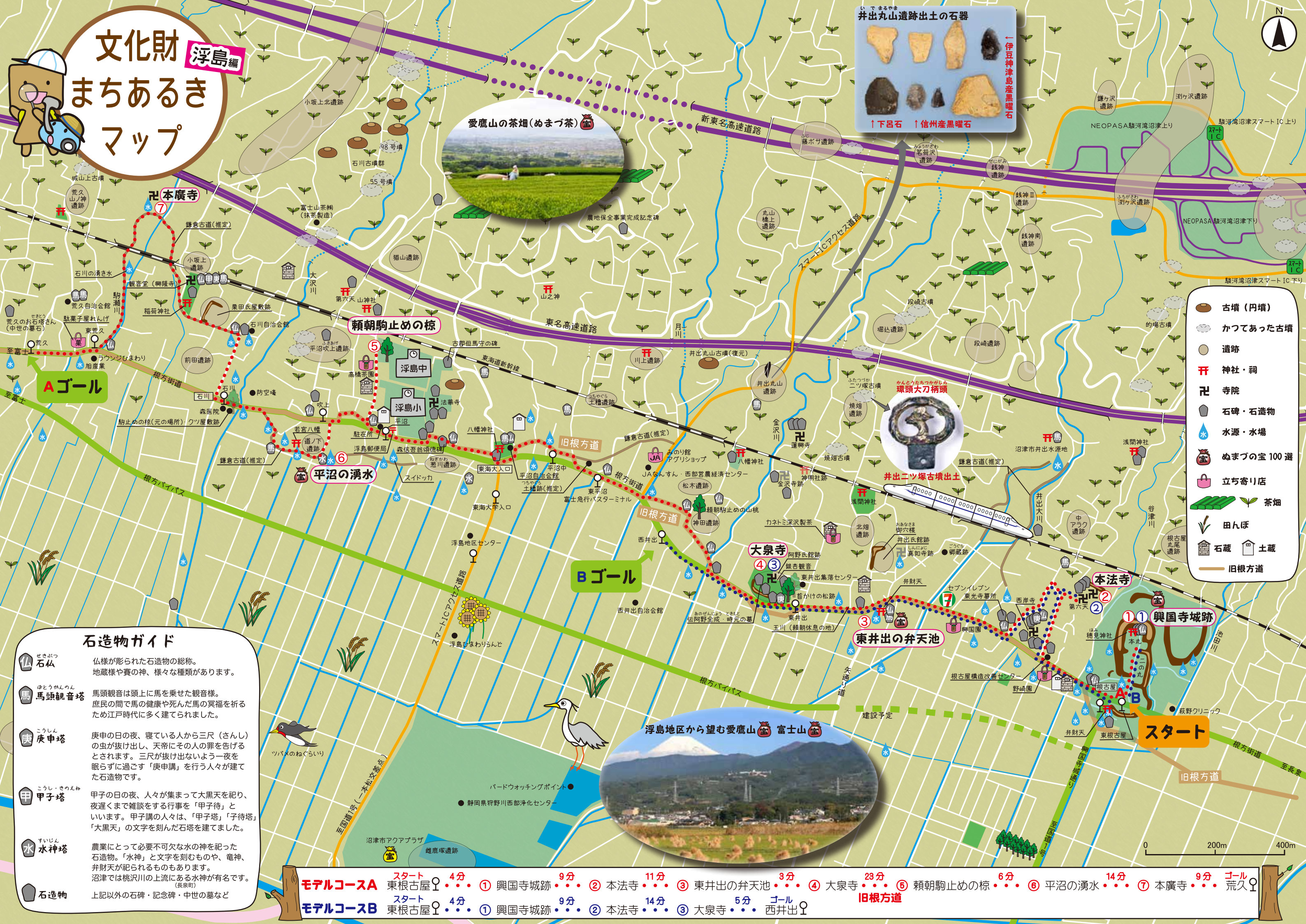
阿野全成は源義朝の七男で、頼朝の弟にあたる。全成は頼朝の平家打倒の挙兵に加わり、のちに阿野庄を与えられ、この地に屋敷を構え阿野全成と名乗ったとされる。大泉寺は全成の館跡といわれており、境内には館跡の名残を偲ばせる土塁や、全成と子の時元のものといわれる墓が伝わっている。



⑤ 頼朝駒止めの棕（平沼：浮島中学校内）

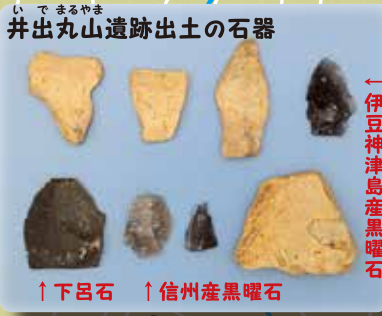
鎌倉時代初頭の建久4年（1193）に行われた富士の巻狩りの際、鎌倉へ戻る途中の源頼朝がこの地の棕の木に馬を留めた伝説が伝わる。この木はその子孫にあたるとされ、石川にあったものが、昭和42年（1967）に浮島中学校へ移植された。





文化財 まちあるき マップ

浮島編



石造物ガイド

石仏
馬頭観音塔
庚申塔
甲子塔
水神塔
石造物

仏様が彫られた石造物の総称。地蔵様や賽の神、様々な種類があります。

馬頭観音は頭に馬を乗せた観音様。庶民の間で馬の健康や死んだ馬の冥福を祈るため江戸時代に多く建てられました。

庚申の日の夜、寝ている人から三尺（さんし）の虫が抜け出し、天帝にその人の罪を告げるとされます。三尺が抜け出さないよう一夜を眠らずに過ごす「庚申講」を行う人々が建てた石造物です。

甲子の日の夜、人々が集まって大黒天を祀り、夜遅くまで雑談をする行事を「甲子待」といいます。甲子講の人々は、「甲子塔」「子待塔」「大黒天」の文字を刻んだ石塔を建てました。

農業にとって必要不可欠な水の神を祀った石造物。「水神」と文字を刻むものや、竜神、弁財天が祀られるものもあります。沼津では桃沢川の上流にある水神が有名です。（長泉町）

上記以外の石碑・記念碑・中世の墓など

モデルコースA	スタート	東根古屋	4分	① 興国寺城跡	9分	② 本法寺	11分	③ 東井出の弁天池	3分	④ 大泉寺	23分	⑤ 頼朝駒止めの棕	6分	⑥ 平沼の湧水	14分	⑦ 本廣寺	9分	ゴール	荒久
モデルコースB	スタート	東根古屋	4分	① 興国寺城跡	9分	② 本法寺	14分	③ 大泉寺	5分	ゴール	西井出								